平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

1　施策No.	5-3-1		
2　地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち		
3　政策	ごみ減量・清掃事業の推進		
4　施策	_3Rの推進【重点】		
5　評価担当部	環境清掃部		
6　施策関連課	ごみ減量推進課		
7　評価者	環境清掃部長　柴　俊之		

8　施策の目標	環境負荷の低減のために、リデュースとリユースによるごみが排出される前の段階での、より一層のごみの減量や、質の高いリサイクルを推進します。 ごみの発生抑制、使わなくなったものの再使用、ごみと資源の分別徹底について、より一層の普及啓発を行います。
9　施策の現状と課題	・清掃工場の処理能力や最終処分場の残存容量の面から、また、環境負荷低減のためにも更なるごみの減量が必要であり、一人ひとりがごみと資源の分別徹底やリサイクルなどを通して、さらにごみの減量を意識し、行動することが課題である。
10　施策の実現に影響を及ぼす環境の変化（法改正、社会状況等）	令和元年5月に食品ロス削減推進法が成立し、国、地方公共団体、事業者、消費者等の多様な主体が連携し、国民運動として食品ロスの削減を推進していくことが求められている。
11　今年度の施策の取組方針	・普及啓発講座の対象拡大や食品ロス削減に関する内容を取り入れる等、質的充実にも力を入れる。 ・フードドライブ常設窓口及び受付品目を拡大していく。 ・食べきり協力店の登録店を増やす取り組みを行う。

12　投入コストの推移

費　目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費合計（千円）	720,162	684,255	749,328	708,200	0
うち一般財源分（千円）	590,235	533,552	600,273	545,690	0

13　施策の達成度を測る指標の推移

指標(1)	基本計画指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
「ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている」と回答する区民の割合【%】		目標値	38%	39%	39%	40%	40%
		実績値	29%	34%	32%		
		達成率	76.1%	87.8%	82.1%	—	—
		達成状況	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成		
指標重要度の割合(%)	70	指標設定理由	ごみの減量についての区民の理解と、行動の状況が把握できる指標であるため。				

指標(2)	補助指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
資源回収量【トン】		目標値	18054	18455	18858	19046	19130
		実績値	14864	14090	14802		
		達成率	82.3%	76.3%	78.5%	—	—
		達成状況	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成		
指標重要度の割合(%)	30	指標設定理由	ごみの減量についての区民の理解と、行動の状況が把握できる指標であるため。				

14　施策達成状況

平成30年度達成状況	81.0%	【達成状況分析】
B:相当程度達成		不燃ごみの資源化によって、前年度より全体の資源回収量は増加したが、新聞・雑誌等の販売部数減の影響で、可燃系資源の減少が大きい。 資源の行政回収や町会を中心とした集団回収等を中心とした、地道な普及啓発を今後も続けていく必要がある。
		【指標重要度の割合の設定理由】
		ごみの減量とリサイクルの重要性について区民の理解と行動の状況が把握できる指標として設定している。

15　施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	中国やアジア諸国の廃プラスチック輸入規制、食品ロス削減推進法の成立等、ごみの減量が一層求められている中で、一人ひとりの意識と行動を変えていくために、3Rの推進・啓発は欠かせない。より一層効果的な啓発方法を常に模索しながら進めていく必要がある。
16　施策貢献度の考え方（設定の根拠・理由）	3R推進による効果を数値化することは難しいため、出前講座の実施、リユース食器の貸し出し、生ごみ処理機購入助成制度利用件数等で把握している。

平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

17　来年度の方針 （課題解決策や改善策、成果向上策について）	ごみや資源の分別が十分でない外国人や一部の事業者に対して、ホームページやパンフレットをよりわかりやすいものに改定するなど、啓発を強化していく。 また、食品ロス削減をより一層推進するため、啓発を強化していく。
18　新規・拡充事業の効果や必要性	・資源回収事業のコスト増。中国やアジア諸国の廃プラスチック輸入規制による影響によりコスト増が想定される。 ・資源の持ち去り対策の充実。持ち去り者の悪質化に対応するため、新たな手法の検討が不可欠。 ・食品ロス削減対策事業の充実。フードドライブの充実。食品ロス削減推進法の趣旨を踏まえ、さらなる普及啓発等食品ロス削減の推進が必要である。 ・資源化に関する事業は、平成30年度に不燃ごみの資源化を進め本施策に大きく貢献したが、委託先の人件費上昇、処理フローの停滞による間接経費上昇などにより来年度以降費用が上昇する。

19　施策を構成する計画事業

事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0603-01	3R推進啓発事業		事業費合計（千円）	9,934	10,033	8,978	9,074	
			うち一般財源分（千円）	9,934	10,033	8,978	9,074	
			現状評価	A：良好	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A':改善・継続		
0603-02	集団回収事業		事業費合計（千円）	25,678	22,902	19,800	26,735	
			うち一般財源分（千円）	25,678	22,902	19,800	26,735	
			現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持			
0603-05	資源回収事業		事業費合計（千円）	542,347	555,080	532,461	570,439	
			うち一般財源分（千円）	431,503	429,039	410,030	431,156	
			現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A':改善・継続		
0603-06	不燃ごみの資源化事業		事業費合計（千円）			100,410		
			うち一般財源分（千円）			95,736		
			現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度			★★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性					

20　施策を構成する一般事業

事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0603-03	リサイクルセンター運営		事業費合計（千円）	74,955	11,388	10,534	11,307	
			うち一般財源分（千円）	74,955	11,388	10,534	11,307	
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★	★	★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持			
0603-04	拠点回収事業		事業費合計（千円）	12,590	12,866	10,855	12,911	
			うち一般財源分（千円）	12,589	12,866	10,855	12,911	
			現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持			
0603-08	区施設資源・ごみ回収事業		事業費合計（千円）	20,523	19,383	18,794	26,485	
			うち一般財源分（千円）	19,066	17,981	17,276	24,343	
			現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度			★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)		
0603-09	ごみ処理券事業		事業費合計（千円）	21,844	28,295	23,871	27,394	
			うち一般財源分（千円）	4,219	5,035	3,439	6,309	
			現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度			★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)		
0603-10	資源持ち去り防止対策事業		事業費合計（千円）	12,291	12,291	12,514	12,518	
			うち一般財源分（千円）	12,291	12,291	12,514	12,518	
			現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度			★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)		
0603-11	フードロス対策事業		事業費合計（千円）		12,017	11,111	11,337	
			うち一般財源分（千円）		12,017	11,111	11,337	
			現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度		★★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)		

平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

1　施策№	5-3-2		
2　地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち		
3　政策	ごみ減量・清掃事業の推進		
4　施策	安定的で適正なごみ処理の推進		
5　評価担当部	環境清掃部		
6　施策関連課	ごみ減量推進課	豊島清掃事務所	
7　評価者	環境清掃部長　　柴　俊之		

8　施策の目標	区民・事業者・区が適切な役割分担のもと一体となって、ごみの減量を推進します。 最終処分場の延命化や環境負荷の低減に向けて、安定的で適正なごみ処理を効率的に推進します。
9　施策の現状と課題	・区民の分別排出への協力や事業者によるごみの発生抑制などにより、区民一人あたりのごみ量は着実に減少している状況である。 ・限りある資源を有効に活用する持続可能な循環型社会を実現するために、区民・事業者・区がそれぞれの役割と責任に応じて、発生抑制と分別・適正排出の徹底、不法投棄や不適正な運搬・処理の防止、処理困難廃棄物や廃棄物に含まれる有害物質への対策など、より適正なごみの処理に取り組むことが課題である。
10　施策の実現に影響を及ぼす環境の変化（法改正、社会状況等）	基本的枠組み法である「循環型社会形成推進基本法」や個別法である「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源有効利用促進法」、「家電リサイクル法」の改正動向を踏まえたうえで、東京都、近隣区と連携のとれた計画の策定が求められている。
11　今年度の施策の取組方針	・一般廃棄物処理基本計画の改定及び災害廃棄物処理計画の策定により、今後の廃棄物処理の基本方針を定める。 ・外国人向けごみの分別・出し方QRコード等により、適正排出指導等、適正なごみ処理を推進する。 ・大量排出、不適正排出事業者への指導、啓発により民間収集への移行を図る。

12　投入コストの推移

費　目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費合計（千円）	1,648,510	1,660,332	6,442,537	3,257,658	0
うち一般財源分（千円）	1,343,318	1,340,937	4,502,068	2,905,022	0

13　施策の達成度を測る指標の推移

指標(1)	基本計画指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
区民一人あたりのごみ量（可燃・不燃・粗大ごみ）【g】		目標値	564	552	540	528	516
		実績値	543	541	523		
		達成率	103.7%	102.0%	103.1%	—	—
		達成状況	A：達成	A：達成	A：達成		
指標重要度の割合(%)	100	指標設定理由					

14　施策達成状況

平成30年度達成状況	103.1%
A：達成	【達成状況分析】 池袋駅周辺繁華街地区でのごみ収集の見直しと資源回収の開始により、区民のごみ排出意識の変化や事業系ごみの民間収集業者移行が進んだこと、また資源回収量が増加したことで、区民一人あたりのごみ量が減少した。また、不燃ごみの資源化事業により不燃ごみの91.6%を資源化したためごみ量が減少した。 今後、事業者への排出指導強化等により、更なるごみの減量を推進していく必要がある。 【指標重要度の割合の設定理由】 当該施策は、適正な排出指導等の様々な事業より構成されている。これらの事業は、それぞれ目標値はあるものの、最終的な目的はごみ量を減らすことにあるため、施策達成のための指標を一つとした。

15　施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	一般廃棄物処理基本計画を達成するために、各事業を効率的、効果的に運用することで、一人あたりのごみ量は確実に減少してきている。
16　施策貢献度の考え方（設定の根拠・理由）	ごみの減量や安定的で適正なごみ処理の推進のためには、現状を分析し、時流をとらえた計画を策定するとともに、排出指導等様々なアプローチが必要である。一方で、ごみの収集はライフラインという側面があるため、成果を数値化することが必ずしも適切ではない事業もあり、これらの事業は義務的事業とした。
17　来年度の方針（課題解決策や改善策、成果向上策について）	ごみの発生抑制や再利用を推進するとともに、社会経済等の動向に対応した新たな資源化について検討し、更なるごみの減量をめざす。 また、不法投棄や不適正な運搬・処理の防止、処理困難廃棄物や廃棄物に含まれる有害物質への対策など、より適正なごみの処理の推進に取り組んでいく。
18　新規・拡充事業の効果や必要性	ごみの発生抑制と分別・適正排出の徹底、不法投棄や不適正な運搬・処理の防止、処理困難廃棄物や廃棄物に含まれる有害物質への対策、街の環境美化の向上、区民ニーズの変化への対応等が求められているため、清掃車両や計画策定に関し新たな取り組みを行う必要がある。粗大ごみ資源化事業は、令和元年まで、処理費用より資源売却代金が高かったため歳入のみだったが、来年度より、資源化処理費用が増加するため、歳入で賄えず歳出が生じる。

平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

19　施策を構成する計画事業								
事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
60404	廃棄物収集作業		事業費合計（千円）	1,029,118	1,031,127	1,151,877	1,190,974	
			うち一般財源分（千円）	844,268	836,045	955,254	982,610	
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	法定事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持		
60408	事業系ごみ適正処理推進事業		事業費合計（千円）	35,945	35,716	39,189	39,533	
			うち一般財源分（千円）	35,945	35,716	39,189	39,533	
			現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持		

20　施策を構成する一般事業								
事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
60402	職員安全・衛生対策		事業費合計（千円）	27,845	27,830	23,559	23,704	
			うち一般財源分（千円）	27,845	27,830	23,559	23,704	
			現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	―（再掲分）	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)		
60403	直営車両（購入・維持）経費		事業費合計（千円）	178,591	179,204	179,220	179,220	
			うち一般財源分（千円）	176,681	178,714	178,618	178,618	
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		
60405	粗大ごみ収集		事業費合計（千円）	258,183	271,220	276,019	281,749	
			うち一般財源分（千円）	139,751	147,397	150,775	138,079	
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	―（再掲分）	―（再掲分）	★★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)		
60406	不法投棄対策事業		事業費合計（千円）	29,292	25,530	25,795	26,855	
			うち一般財源分（千円）	29,292	25,530	25,795	26,855	
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	―（再掲分）	―（再掲分）	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)		
60407	廃棄物排出指導業務		事業費合計（千円）	37,212	37,177	35,663	35,405	
			うち一般財源分（千円）	37,212	37,177	35,663	35,405	
			現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	―（再掲分）	★★★	★★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	A:現状維持	一般事業(評価対象外)		
60409	池袋繁華街カラス被害防止対策事業		事業費合計（千円）	20,472	20,359	26,925	27,111	
			うち一般財源分（千円）	20,472	20,359	26,925	27,111	
			現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	―（再掲分）	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	一般事業(評価対象外)			
60308	計画推進経費		事業費合計（千円）	31,852	32,169	14,290	19,107	
			うち一般財源分（千円）	31,852	32,169	14,290	19,107	
			現状評価	A：良好	A：良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持			
0603-15	一般廃棄物処理基本計画策定事業		事業費合計（千円）			1,009,000	1,009,000	
			うち一般財源分（千円）			1,009,000	1,009,000	
			現状評価					
	事業特性1		施策貢献度			★★★		
	事業特性2		今後の事業の方向性			一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	
0603-16	災害廃棄物処理計画策定事業		事業費合計（千円）			3,661,000	425,000	
			うち一般財源分（千円）			2,043,000	425,000	
			現状評価					
	事業特性1		施策貢献度			★★★		
	事業特性2		今後の事業の方向性			一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	